

ODA

特定非営利活動法人 沖縄県脊髄損傷者協会

しゃりん 110号

編集： NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
E-Mail sekiren@proof.ocn.ne.jp
HomePage <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

TEL&FAX. 098-886-4211
西棟2階 ボランティア小規模団体室

発行：沖縄県身体障害者福祉協会

「観光バリアフリーサポーター育成事業」を振り返って

今年度から法人になり、仲根がトラバークする形で事務局常勤したことで、25年度は未開のチャレンジでした。その中でも大きな取り組みが沖縄県観光振興課による公募事業「誰にも優しい観光地づくり形成事業：観光バリアフリーサポーター育成事業」の受託でした。9月中旬に情報が入って急遽の申請でしたが採択され、2月末までテンヤワンヤの状態でした。1月に砂川昭人さんが事務局に加わらなかったらどうなっていたかわからないぐらい想像以上の業務量でした。しかし法人化で社会事業を担っていこうという方向と、障がい者関連の仕事という点では受託した意義は大きかったと思います。この事業を通して広がったネットワークは必ずや活かされると思います。また、もう一つの関連事業で「恩納村の宿泊施設バリアフリー調査」も関わることができ、名護市の頸損メンバー新垣正樹さんや北部自立生活センター希輝々の皆さんと一緒に事業の担い手として調査活動できたことは大きな意義がありました。26年度でも同事業で「アジア地域と沖縄」のテーマで仕掛けたいと思っていますので、会員メンバーも一緒に関わってみませんか？ (仲根)



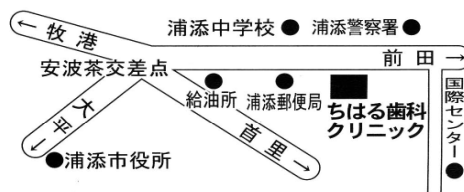
ちはる歯科クリニック CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) **877-6480**

FAX (098) **877-9251**

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

「沖縄県障害のある人もない人も 共に暮らしやすい社会づくり条例」始まる

当条例は1981年の障害者の「完全参加と平等」をテーマに国連で決議された「国際障害者年」を契機に、世界的な取組みを促進する活動から始まりました。そして2006年12月、障害者の人権の保護と社会参加が平等に行われるための基本的なルールとして「障害者の権利条約」が国連で採択され、現在までに138カ国が批准しています。

そのような世界的な状況の下、日本政府も条約の批准に向けて障害者関連法の整備を進めています。地方自治体では先行して千葉県において、日本で初めて障害者差別を禁止した「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が2006年に制定されました。今回の

沖縄県の本条例制定は、全国の都道府県レベルで6番目になります。

さて、この条例は障害者も地域社会の構成員として当たり前で生活するための基本的ルールを定めたものですが、新たな権利を障がい者に与えるものではなく、国連障害者の権利条約や日本国憲法の理念に則った内容であり、県民全てが享受できるところに大きな意味があります。

社会生活のあらゆる場面において、すべての県民が差別や偏見などを受けることなく基本的人権が尊重され、社会参加が平等に行われる（インクルーシブ）社会づくりのために活用される本条例は、本年4月1日に施行されます。

なお、条例の原文や概要は県の障害保健福祉課のホームページで閲覧できます。

(<http://kyouseishakaijourei.net/>)

(上里)

障がい者支援施設訪問交流実施 (楽ワーク福祉作業所)

2月16日(日)、南城市玉城堀川にある「楽ワーク福祉作業所」へ訪問交流に行ってきました。今回の訪問は2週間前に急に決まったことと、5日後に迫っていた「障がい者IT支援機器等体験・展示会」の準備作業も分担して進める必要があったため、脊損協会からの参加者は大城昌彦さんと枝川泰邦の二人だけとなりました。



楽ワークの所長は頸随損傷者の我喜屋さんで、訪問・交流事業の意義を理解してい



ただき、利用者で唯一の脊損者である利用者の宮城明さん、エコクラフト工芸の指導者で所長の奥さんの3人が迎えてくれました。作業所で作ったエコクラフト作品のなども見せてもらいながら作業所ができた経緯や利用者の障害別内訳、作業所での活動内容などの話を聞くことができました。中でも半身麻痺の利用者が片手だけで作ったというエコクラフト作品や宮城明さんの作品のできればは見事なものでした。

(枝川)

2014年新年会開催



去った1月25日(土)、カルチャーリゾート フェストーネにて「脊髄損傷者新年親睦会&介護者リフレッシュ交流会」を開催いたしました。

この交流会は歳末たすけあい募金の配分金を受けて誰もが参加しやすい参加費設定にしたのと、介護者リフレッシュ交流会を抱き合わせて開催したのが功を奏したのか、例年になく多くの会員並びに家族の方が参加していました。

今年は上里一之さんが社会福祉士試験に見事に合格して久々に参加してくれたり、脊損連合会の立ち上げ当事者の横田さんや荻堂さんも久々に参加してくれたりお陰でおおいに盛り上がりました。日頃は会員の介護で疲れているであろう家族の方にとってもストレスを発散することができたのではないのでしょうか。なお、今回もビンゴゲームの景品をご提供くださった関連業者様へもこの場をお借りしてお礼申し上げます。(枝川)

ナムチョック・ペットセンさん訪問 ～タイ国からの研修生～

去る2月21日(金)、タイ国からの研修生ナムチョック・ペットセンさんが沖脊協の事務所を訪れました。これは「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」の一環として、ナムチョックさんは愛媛の松山でショートステイを行いながら沖縄まで足を延ばしたもので、短い期間で覚えたとは思えないきれいな日本語を使って同じ障がいを持つ沖脊協の会員の状況や活動内容を熱心に聞き取っていました。タイでは、三輪の車いすにバイクのバッテリーを搭載した手作りの電動車いすを障害の仲間へ寄贈する活動など、専門であるコンピューター技術を使いながら活躍しているナムチョックさんは素敵な笑顔を残し、滞在先の松山へ戻っていきました。日本での研修の成果を母国タイへ持ち帰り、リーダーとして活躍することを、同じ脊髄損傷の仲間として沖縄から応援しています。(上里)

写真中央ナムチョックさん



沖縄 交通事故被害者相談室 無料相談会実施中



弁護士 照屋俊幸

【脊髄損傷等の後遺障害で悩まれている皆様へ】

- ・ 治療費を突然打ち切られてしまった
 - ・ 保険会社との交渉が面倒である
 - ・ 提示された賠償金に納得できない など
- 交通事故に詳しい沖縄の弁護士にご相談下さい。



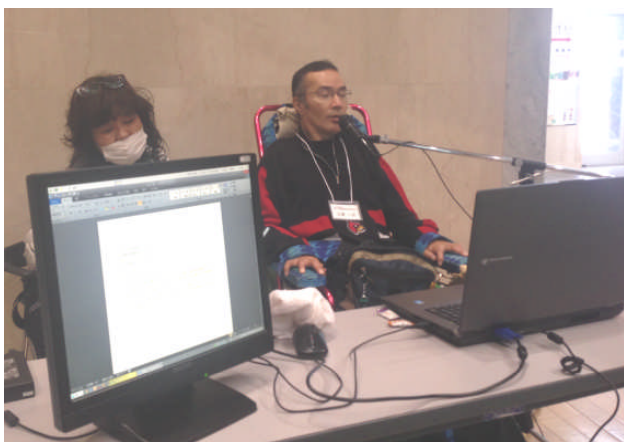
当事務所HPはこちらから

【20年以上の実績】照屋俊幸法律事務所 098-834-3741 (平日:9:00~18:00)
〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺1丁目5番17号 プロフェスビル那覇302

障がい者IT支援機器体験・展示会 及びシンポジウム、無事終わる

障がい者IT支援機器体験・展示会及びシンポジウムを2月28日～3月1日の間に開催しました。機器体験・展示会は2日間合わせて200名ほどが訪れました。

メインとなる「レッツ・チャット」や「伝の心」などのメジャー機器にはたくさんの方が訪れていました。沖脊協では理事の上里一之さんに音声入力ソフト「ドラゴンスピーチ11J」を使った音声で



の文書入力をデモンストレーションしていただいたり、体の一部を動かすことでマウス操作ができる「SmartNav4 AT」、スイッチを接続してiPadを操作できる装置の「できiPad。」などを展示しました。個々の機器についての内容は今後しゃりんの記事として載せていきます。

各出展者のブースが目玉機器を出展している中、沖脊協のブースは展示会が始まるまでは、ホントに人なんか来るのかな・・・とか思っていました。沖脊協の会員が呼びかけた成果もあって初日から作業所に勤めている団体さんなどがたくさん訪れました。例えば、

●体の緊張などでマウス操作が難しかった障がい当事者が「できiPad。」を利用して思い通りに操作ができるようになり、表情が明るくなった。

●ベットで寝たきりの夫にタブレット端

末を負担なく使えるような、ベッドに取り付けて使うアームを探していたところ、それにピッタリなアームに出会った。

●スイッチ類の情報を求めて相談にやってきた方に、より適切に回答できる、隣のブースの「ハート義肢」さんへおつなぎした結果、満足していただいた。

など、予想以上の成果がありました。



シンポジウムでは参加者が少なかったものの、内容に影響を受けた方が後日琉球新報のコラム欄に執筆するなど、その成果は確実に現れてきていました。

このイベントの開催準備にあたり、自らこのイベントのお手伝いをしたいという方が数名現れ、なんとか開催までこぎつけることができた奇跡のような出来事もありました。当日お手伝いしてくださった方も含め、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、沖脊協では今回のイベントは単発でやって終わりとするわけではなく「沖縄県障がい者ITサポートセンター(仮称)」の設置に向けて、今後3年間継続していく

事業の一環で行っています。

それらの情報についての詳しい内容はホームページ「障がい者ITサポートおきなわ (<http://okisekikyo.web9.jp/itsupport/>)」を参照ください。(砂川)



沖縄県障がい者ITサポートセンター 設置に向けた行動計画案

取り組むにあたってのポイント①

- 障がい者のIT活用ニーズの根拠
重度肢体不自由ニーズ
知的障害児等の教育的効果ニーズ
高齢者のニーズ
- 公的施策との関係性と根拠
総務省IT施策
障がい者IT施策
「障害者優先到達推進法」における
在宅就労支援
沖縄県障害者基本計画位置づけ
沖縄県特別振興計画における
IT産業創造施策の位置づけ

沖縄県障がい者
ITサポートセンター
設置

平成28年度

沖縄県における障がい者
在宅就業支援団体登録促進

平成27年度

「障がい者IT活用体験・展示会」の
開催と障がい者IT活用に関する
研究会の発足

平成26年度

平成25年度

沖縄県障がい者
ITサポートセンター設置に
向けた取り組み開始

「障がい者IT活用体験・
展示会」の開催

重度障がい者のIT活用に
関する意識及び実態調査
の実施



お休み
謹んで御冥福をお祈り申し上げます

- 池間 均
- 辻野 博之

◆メールアドレス募集中

事務局には求人情報が入ってきたり、イベント参加の案内が入るなど、会員の皆さんにスピーディーに伝達したい情報が多くあります。「しゃりん」以外の情報提供手段にメールを使ったメーリングリストを活用して、これまで以上に情報提供に努めていきます。ぜひぜひ、メールアドレスを事務局までお知らせください。

Mail : sekiren@proof.ocn.ne.jp

メーリングリスト

To: MLアドレス



沖脊協事務局



会員



◆Facebook のすすめ

沖脊協では昨年11月からFacebookを開設し、日々の活動報告や情報提供を始めています。ぜひFacebookアカウントを作って沖縄県脊髄損傷者協会のFacebookページに友達申請してください。現在、友達承認された会員は事務局員全員を含め、約10名です。



◆今後の予定

◎第2回 沖脊協通常総会開催 (5月中)

なんでも相談

事務局に常勤の仲根は「社会福祉士」「障がい者相談支援専門員」で障がい者福祉のエキスパートです。福祉サービスの公的制度等のこと、バリアフリーに関すること、排せつの悩み、仕事などのご相談をお受けしますのでご連絡ください。また、法律問題等についても弁護士事務所にバックアップしていただいています。悩みの解決のために一緒に考えましょう。

求む物件!!

沖脊協では、今後の事業展開で「障がい者就労支援センター」「障がい者福祉サービス事業」を検討しており、その拠点となる賃貸物件を探しています。以下の条件にマッチする売物件があれば事務局まで情報提供をお願いします。

- エリア=那覇市、浦添市、宜野湾市、中城村、北中城村、西原町近辺
- 条件=10名程度の車いすが集える空間、1階事務所、フラットまたは段差1段以内(30坪~60坪)

◆祝！牧志理事、会長賞受賞 ～那覇市障がい者美術展～

沖脊協の理事である牧志努さんが快拳！牧志さんが丹精込めて制作した作品が那覇市障がい者美術展にて、陶芸の部で那覇身協会長賞を受賞しました。牧志さんは陶芸の他に絵も描いており、ますます腕を上げていきます。今後の活躍が楽しみです。



発行人 沖縄県南風原町字神里六三一 編集人 沖縄県那覇市首里石嶺町四一三七三一 沖縄県総合福祉センター西棟二F
 沖縄県身体障害者福祉協会 ボランティア小規模団体室・NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会しやりりん編集部 砂川昭人

購読料は会費に含む
【頒価二十円】

R.C.Y.

リハビリテーションクリニック やまぐち

Rehabilitation Clinic Yamaguchi

〒900-0003 那覇市安謝 1-10-28
TEL 098-864-1100

安らぎ・癒し・元気を提供します。

診療スタッフ

医師 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医

リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科 ▶身体機能訓練
▶身体能力訓練
▶言語訓練
▶摂食嚥下訓練
▶認知訓練

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00~ 6:00	○	○	○	○	○	○